

PRESS RELEASE

株式会社 Verifirm、NPO 法人日本グローバルグリーン協会
日本初中国の環境貢献を支援する「Dear global green project」を 2 月 12 日より開始

株式会社 Verifirm（代表取締役 林大輔 本店：東京都千代田区）と特定非営利活動法人日本グローバルグリーン協会（筆頭理事 田無 義男 本店：東京都千代田区）とは、中華人民共和国における環境貢献事業を寄付という手段により支援する「Dear global green project（親愛的緑化計画）」を平成 22 年 2 月 12 日より開始することとなりました。この事業の開始により、中華人民共和国における環境問題の抜本的な解決を日本の技術と資金で図っていくことを目指し、こういった支援スタイルとしては、日本初の事業展開となります。尚、この事業は日本財団の助成支援事業「FUJIYAMA GREEN FOUNDATION」との連携を図った事業となっております。

株式会社 Verifirm は、2010 年より運営を開始する環境情報サイト「green-green」における支援事業の一環として、近年国家成長が著しい中華人民共和国における環境意識の低さ及び西部地域における急速な砂漠化に対応するため、本事業を企図したものであります。

特定非営利活動法人日本グローバルグリーン協会は、1996 年より中華人民共和国の甘粛省での土壌改良事業を皮切りに内蒙古地域、そしてアフリカのブルキナファソ共和国での土壌改良事業に至るまで、一貫して、砂漠化の阻止を「グローバルグリーン」の旗印の下取り行って参りました。

< 背景 >

毎年 2 ケタに迫る勢いの経済発展著しい中華人民共和国においては、成長の歪みとして、環境問題が深刻化している。特に、「世界の工場」として近年の成長を遂げてきた当地においては、目を覆うばかりの環境破壊が進行している。特に、工業排水の垂れ流しによる河川汚染、こういった排水が土壌に浸み込み発生する土壌汚染、無計画な樹木の伐採による砂漠化の進行が大きな課題となっております。

=====

「Dear global green」について

=====

【サービスの内容】

中華人民共和国（以下、「中国」といいます。）に進出している日本企業を中心として、本プロジェクトへの資金的協力を求めます。1 口を 100,000 円として、広く寄付を募るものとし、その寄付金を、1,000,000 円を 1 セルとする基金（「FUJIYAMA GREEN FOUNDATION」）として、「Dear global green プロジェクト」が独自に定める寄付貢献ス

PRESS RELEASE

マイルを基に基金を配布します。日本においては、株式会社 Verifirm が基金の窓口となり、各政府への環境アセスメント報告を特定非営利活動法人日本グローバルグリーン協会が行います。

【寄付の対象先】

「Dear green project (親愛的緑化計画)」では、当地で「五行」として世界を構成する5つの要素として挙げられている下記の分野に対し、集中的に資金投下を行います。

「木」：森林保全

「火」：クリーンエネルギー

「土」：土壌改良・砂漠化の防止

「金」：地下資源開発の環境負荷の低減

「水」：水質改良・水資源確保

【寄付企業向けサービス】

寄付を行った、企業は支援状況がどのような格好で進んでいるかを「green-green」サイトにおいてチェックすることができます。又、本事業への参加によって、中国の環境貢献に大きく寄与する進出法人として中央政府に報告されると共に、中国進出企業間の情報交換の場をつくることとなります。そして、日本の先進的な技術を当地において紹介することも可能となり、販売促進戦略やマーケティング戦略の立案に活用できるものとなります。

【今後の目標】

2010 年度中に、100 社程度の寄付企業を獲得し、寄付総額 50,000,000 万円（50 セル）程度の実行を目指します。

以上